

# 決算説明資料

2019年度第2四半期決算概況

---

2019年10月30日

 住友化学

### **(注意事項)**

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

## I.2019年度第2四半期決算

連結業績概要（対前年同期実績）	4
セグメント別売上収益	5
セグメント別コア営業利益	6
売上収益・コア営業利益の増減分析 （セグメント別）	7
非経常項目内訳	12
連結財政状態計算書	13
連結キャッシュ・フロー	14

## II.2019年度予想

業績予想（通期）	16
セグメント別売上収益予想（通期）	17
セグメント別コア営業利益予想（通期）	18

## III.ハイブリッド社債の発行

ハイブリッド社債の発行	20
-------------	----

## （参考資料）

設備投資／減価償却費／研究費／期末人員	23
セグメント別設備投資	24
セグメント別減価償却費	25
セグメント別研究費	26
セグメント別売上収益（四半期推移）	27
セグメント別コア営業利益（四半期推移）	28
主要グループ会社業績動向	29

# 2019年度第2四半期決算

# 連結業績概要（対前年同期実績）

4

単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減	増減率
売上収益	11,221	<b>11,076</b>	△146	△1.3%
コア営業利益	1,021	<b>845</b>	△176	△17.2%
（うち持分法による投資利益）	(239)	<b>(122)</b>	(△117)	-
非経常項目	△102	<b>180</b>	282	-
営業利益	919	<b>1,025</b>	106	11.5%
金融損益	104	△59	△163	-
（うち為替差損益）	(102)	<b>(△68)</b>	(△171)	-
法人所得税費用	△208	△466	△258	-
非支配持分損益	△200	△204	△4	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	615	<b>297</b>	△318	△51.7%
ROE	6.4%	<b>3.0%</b>		
平均為替レート（円/USD）	110.26	<b>108.60</b>		
ナフサ価格（円/KL）	51,100	<b>42,700</b>		
海外売上比率	64.6%	<b>66.8%</b>		

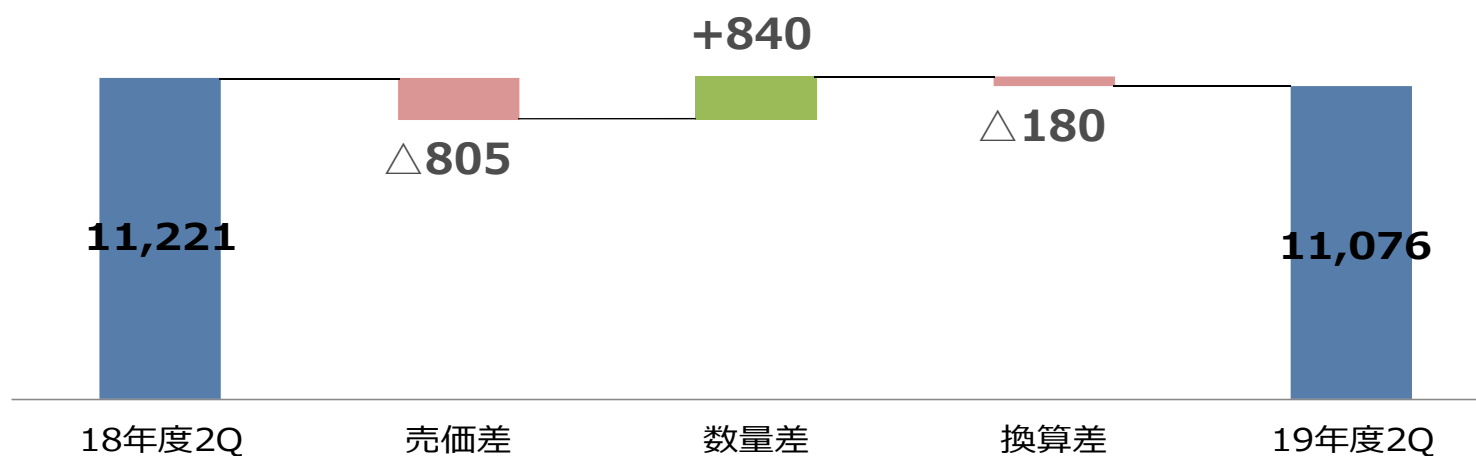
# セグメント別売上収益

5

単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
石油化学	3,804	3,522	△282	△7.4%	△555	313	△40
エネルギー・機能材料	1,409	1,310	△98	△7.0%	△65	△11	△22
情報電子化学	1,954	2,069	114	5.9%	△135	297	△48
健康・農業関連事業	1,381	1,463	82	5.9%	△50	173	△41
医薬品	2,427	2,474	47	2.0%	0	77	△29
その他	246	237	△9	△3.6%	0	△9	0
合計	11,221	11,076	△146	△1.3%	△805	840	△180

## 増減分析 (全社計)



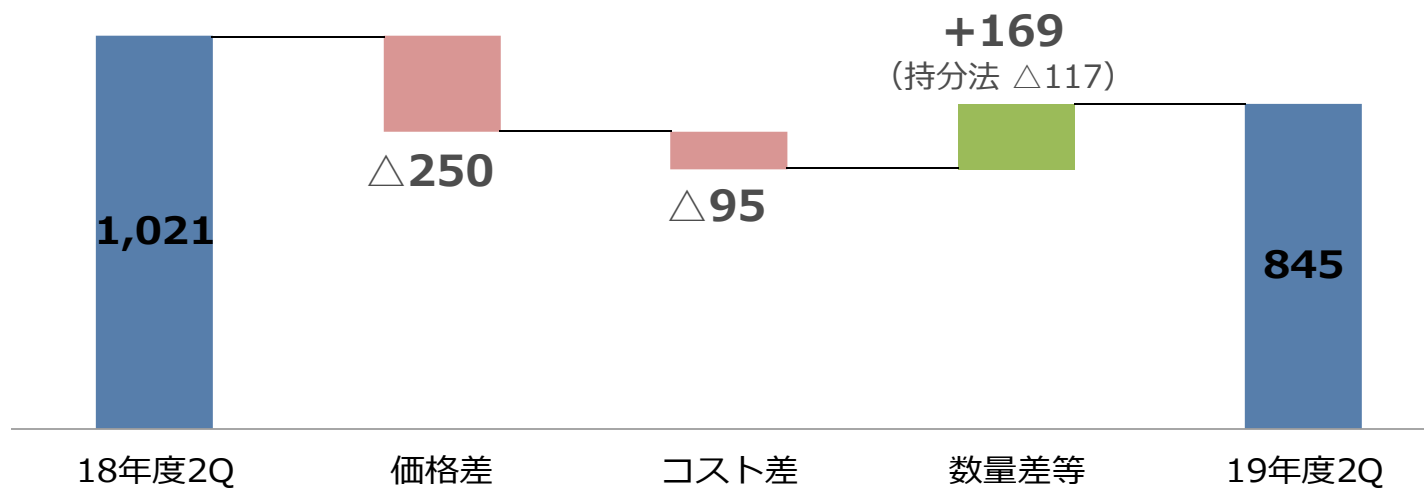
# セグメント別コア営業利益

6

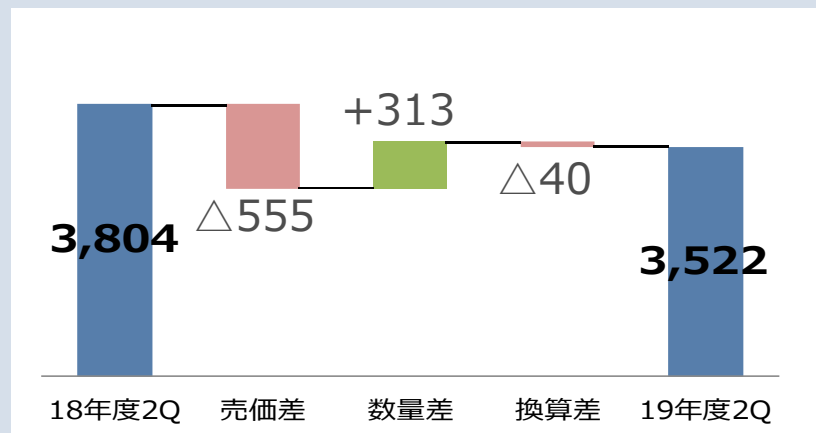
単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減	価格差	コスト差	数量差等	合計
石油化学	354	<b>174</b>	$\Delta 180$	$\Delta 55$	$\Delta 10$	$\Delta 115$	$\Delta 180$
エネルギー・機能材料	128	<b>125</b>	$\Delta 3$	$\Delta 10$	$\Delta 15$	22	$\Delta 3$
情報電子化学	148	<b>153</b>	5	$\Delta 135$	$\Delta 15$	155	5
健康・農業関連事業	25	$\Delta 82$	$\Delta 107$	$\Delta 50$	$\Delta 75$	18	$\Delta 107$
医薬品	393	<b>469</b>	76	0	20	56	76
その他 全社費用等	$\Delta 27$	<b>6</b>	33	0	0	33	33
合計	1,021	<b>845</b>	$\Delta 176$	$\Delta 250$	$\Delta 95$	169	$\Delta 176$

## 増減分析（全社計）



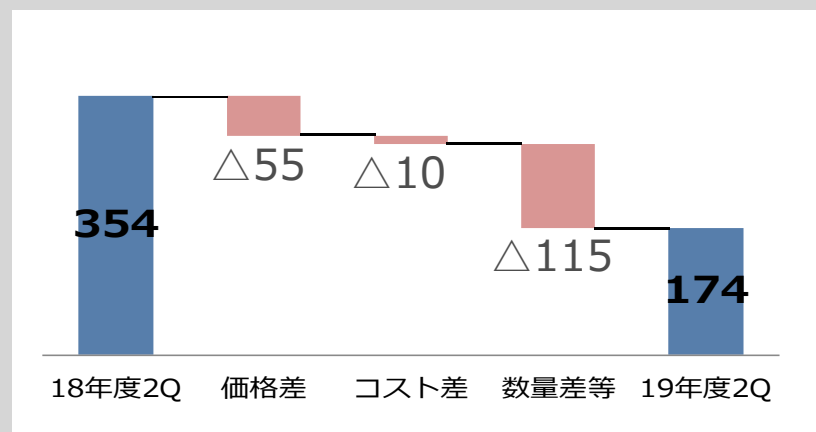
### 売上収益増減



**3,522億円 (前年同期比△282億円)**

- 売価差 ■ 市況下落  
△555億円
- 数量差 ■ ラービグ製品出荷増加  
+313億円
- 換算差  
△40億円

### コア営業利益増減

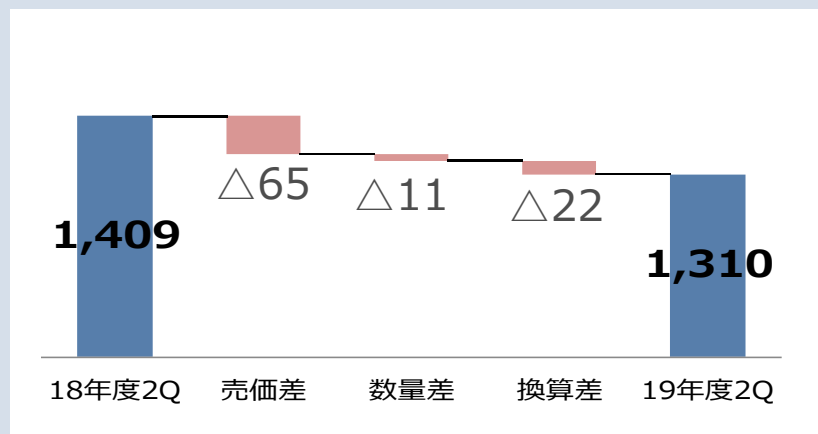


**174億円 (前年同期比△180億円)**

- 価格差 ■ MMA交易条件悪化  
△55億円
- コスト差  
△10億円
- 数量差等 ■ 前年同期千葉工場・シンガポール定修からの数量回復  
△115億円 ■ 持分法損益悪化



### 売上収益増減



1,310億円 (前年同期比△98億円)

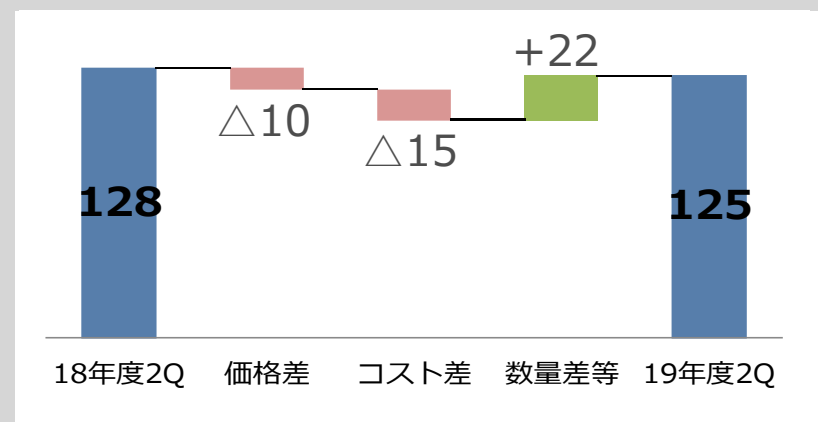
売価差 △65億円

- アルミニウム市況下落
- 正極材料売価下落

数量差 △11億円

換算差 △22億円

### コア営業利益増減



125億円 (前年同期比△3億円)

価格差 △10億円

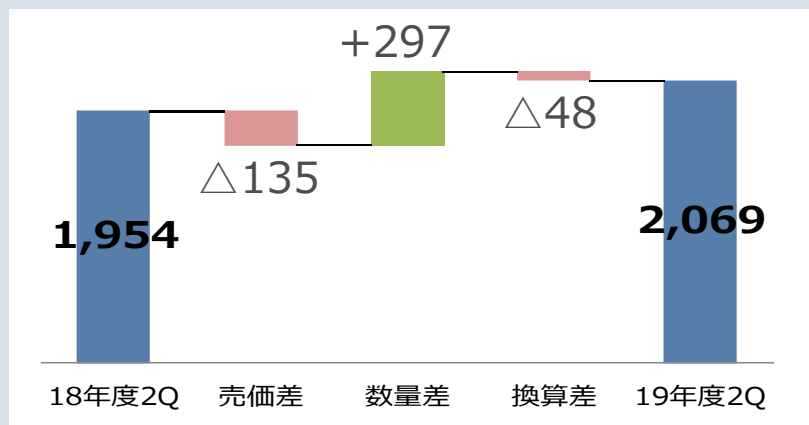
- アルミニウム等交易条件悪化

コスト差 △15億円

数量差等 +22億円

- 前年同期千葉工場定修からの数量回復
- リチウム二次電池用H<sup>+</sup>プレート出荷増加

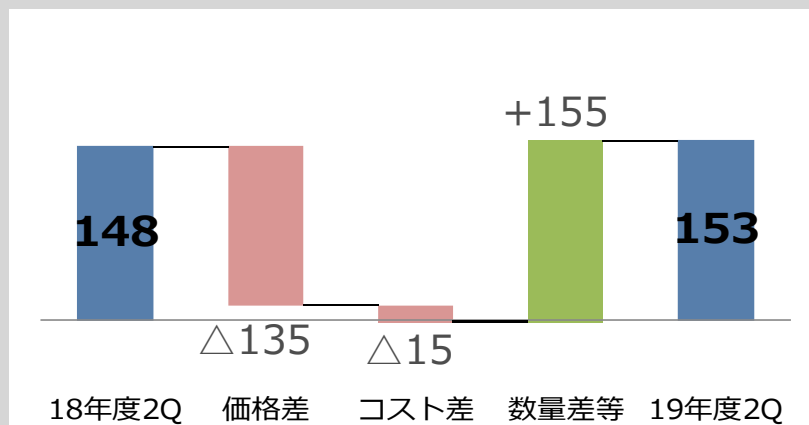
### 売上収益増減



**2,069億円 (前年同期比+114億円)**

- 売価差**  
△135億円
- 偏光フィルム売価下落
  - タッチセンサーパネル売価下落
- 数量差**  
+297億円
- 偏光フィルム出荷増加
  - タッチセンサーパネル出荷増加
- 換算差**  
△48億円

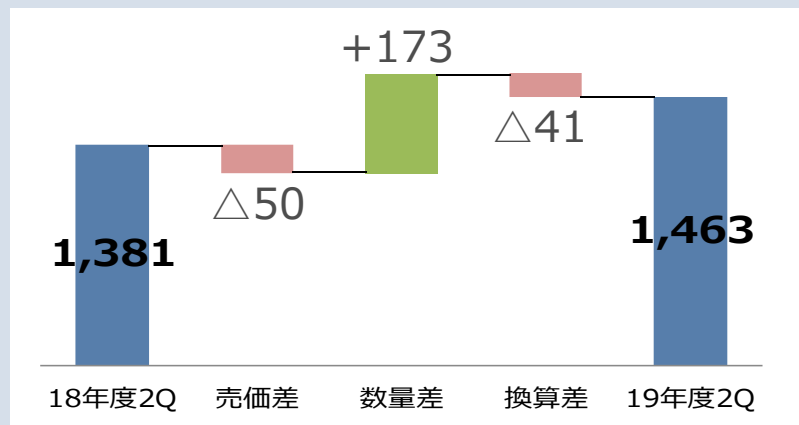
### コア営業利益増減



**153億円 (前年同期比+5億円)**

- 価格差**  
△135億円
- 偏光フィルム売価下落
  - タッチセンサーパネル売価下落
- コスト差**  
△15億円
- 数量差等**  
+155億円
- 偏光フィルム出荷増加
  - タッチセンサーパネル出荷増加

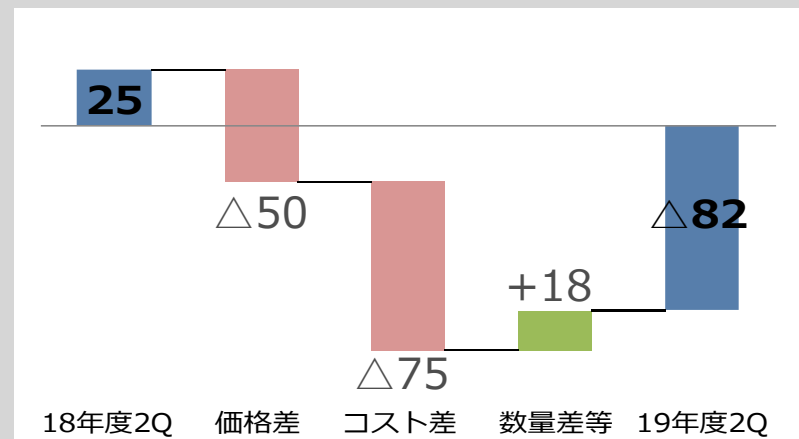
### 売上収益増減



**1,463億円 (前年同期比+82億円)**

- 売価差**  
 △50億円
  - メチオニン市況下落
- 数量差**  
 +173億円
  - メチオニン設備増強に伴う出荷増
- 換算差**  
 △41億円

### コア営業利益増減



**△82億円 (前年同期比△107億円)**

- 価格差**  
 △50億円
  - メチオニン交易条件悪化
- コスト差**  
 △75億円
  - メチオニン新プラント立ち上げ
- 数量差等**  
 +18億円
  - メチオニン設備増強に伴う出荷増
  - 北米天候不順に伴う農薬出荷減

### 売上収益増減



**2,474億円 (前年同期比+47億円)**

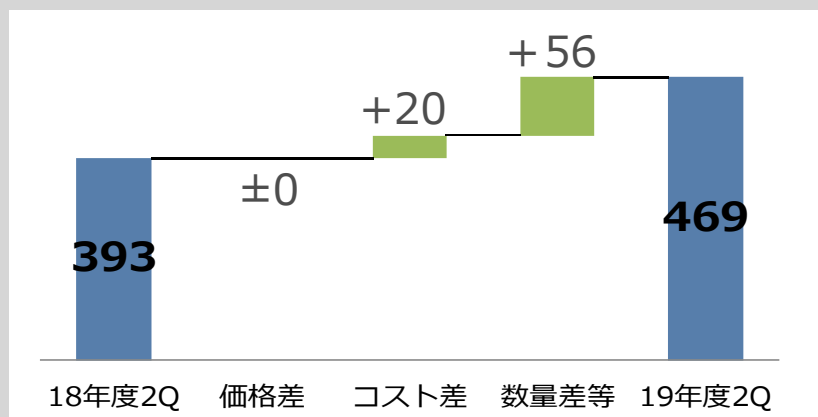
売価差  
0億円

数量差 **+77億円**

- 北米ラツォーダ等出荷増加
- 国内長期収載品等出荷減

換算差  
△29億円

### コア営業利益増減



**469億円 (前年同期比+76億円)**

価格差  
0億円

コスト差 **+20億円**

- 北米販売費減少

数量差等 **+56億円**

- 北米ラツォーダ等出荷増加

単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減
条件付対価に係る公正価値変動	△69	418	486
減損損失	-	△193	△193
事業構造改善費用	△24	△34	△10
その他	△10	△10	△1
非経常項目 計	△102	180	282

単位:億円

	19.3月末	19.9月末	増減		19.3月末	19.9月末	増減
流動資産	12,912	<b>13,305</b>	392	負債	18,197	<b>18,841</b>	644
現金及び現金同等物	2,017	<b>2,713</b>	696	営業債務及びその他の債務	4,829	<b>4,367</b>	<b>△461</b>
営業債権及びその他の債権	5,500	<b>5,196</b>	<b>△304</b>	有利子負債	8,395	<b>9,570</b>	1,175
棚卸資産	4,893	<b>4,936</b>	43	その他	4,973	<b>4,904</b>	<b>△70</b>
その他	503	<b>459</b>	<b>△44</b>	資本	13,519	<b>13,220</b>	<b>△299</b>
非流動資産	18,804	<b>18,756</b>	<b>△48</b>	株主資本	9,223	<b>9,327</b>	105
有形固定資産	7,359	<b>7,854</b>	495	その他の資本の構成要素	764	<b>303</b>	<b>△462</b>
のれん及び無形資産	3,435	<b>3,151</b>	<b>△284</b>	非支配持分	3,532	<b>3,590</b>	58
その他	8,010	<b>7,751</b>	<b>△259</b>				
資産合計	31,716	<b>32,061</b>	344	負債及び資本合計	31,716	<b>32,061</b>	344
				親会社所有者帰属持分比率	31.5%	<b>30.0%</b>	<b>△ 1.5%</b>
				D/Eレシオ (倍)	0.6	<b>0.7</b>	0.1

単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減
営業キャッシュ・フロー	556	<b>699</b>	143
投資キャッシュ・フロー	△831	△ <b>728</b>	103
フリー・キャッシュ・フロー	△275	△ <b>29</b>	246
財務キャッシュ・フロー	220	<b>803</b>	582
その他	73	△ <b>78</b>	△150
現金及び現金同等物の増減	18	<b>696</b>	678
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,338	<b>2,713</b>	376

## II. 2019年度予想



# 業績予想修正（通期）

16

単位:億円

	前回予想	今回予想	増減	増減率
売上収益	24,400	<b>23,300</b>	△1,100	△4.5%
コア営業利益	2,050	<b>1,600</b>	△450	△22.0%
（うち持分法による投資利益）	(230)	<b>(200)</b>	(△30)	-
営業利益	1,900	<b>1,700</b>	△200	△10.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,000	<b>500</b>	△500	△50.0%
ROE	9.7%	<b>5.1%</b>		
平均為替レート（円/USD）	110.00	<b>106.80</b> (下期 105.00)		
ナフサ価格（円/KL）	43,000	<b>42,900</b> (下期 43,000)		

# セグメント別売上収益予想（通期）

17

単位:億円

	前回予想	今回予想	増減
石油化学	7,650	<b>7,050</b>	△600
エネルギー・機能材料	3,100	<b>2,800</b>	△300
情報電子化学	4,250	<b>4,250</b>	-
健康・農業関連事業	3,900	<b>3,650</b>	△250
医薬品	4,950	<b>5,000</b>	50
その他	550	<b>550</b>	-
合計	24,400	<b>23,300</b>	△1,100

# セグメント別コア営業利益予想（通期）

18

単位:億円

	前回予想	今回予想	増減
石油化学	400	<b>240</b>	<b>△160</b>
エネルギー・機能材料	250	<b>230</b>	<b>△20</b>
情報電子化学	270	<b>270</b>	-
健康・農業関連事業	370	<b>110</b>	<b>△260</b>
医薬品	810	<b>810</b>	-
その他 全社費用等	<b>△50</b>	<b>△60</b>	<b>△10</b>
合計	2,050	<b>1,600</b>	<b>△450</b>

## Ⅲ.ハイブリッド社債の発行

## ハイブリッド社債（最大2,500億円）の発行

「事業ポートフォリオの高度化」を推進するための具体的な成長投資と強靱な財務体質の実現を両立する資金調達手段

### 持続的成長のための戦略投資

- ◆ Nufarm社の南米事業買収
- ◆ ペトロ・ラービグ社第2期計画への出資

### 強靱な財務体質の実現

- ◆ 格付機関より調達額の50%に対して資本性の認定を受ける予定
- ◆ D/Eレシオは中長期的に0.7倍程度を目指す

## ハイブリッド社債（劣後特約付社債）の概要

項目	概要
ハイブリッド社債とは	株式の希薄化は発生しない一方、利息の任意繰延、超長期の償還期限、清算手続・倒産手続における劣後性等、資本に類似した性質および特徴を有するなど、資本と負債の中間的性質を持つ。
発行額 (予定)	上限 2,500億円
発行時期 (予定)	2019年12月
償還期間 (予定)	60年（2079年12月償還）
初回任意償還 (予定)	NC10：2029年12月 / NC5：2024年12月
格付機関からの 資本性の認定	格付機関（株式会社格付投資情報センター、株式会社日本格付研究所）より資金調達額の50%に対して資本性の認定を予定

(参考資料)

単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減
設備投資	888	<b>623</b>	<b>△265</b>
減価償却費	513	<b>654</b>	141
研究費	806	<b>794</b>	<b>△12</b>
期末人員 (人)	32,399	<b>33,076</b>	677



単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減
石油化学	187	<b>126</b>	△60
エネルギー・機能材料	116	<b>116</b>	△0
情報電子化学	175	<b>127</b>	△48
健康・農業関連事業	241	<b>112</b>	△129
医薬品	92	<b>94</b>	2
その他 全社費用等	77	<b>47</b>	△30
合計	888	<b>623</b>	△265

単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減
石油化学	103	<b>129</b>	26
エネルギー・機能材料	68	<b>84</b>	16
情報電子化学	137	<b>143</b>	6
健康・農業関連事業	82	<b>136</b>	53
医薬品	81	<b>98</b>	17
その他 全社費用等	41	<b>64</b>	23
合計	513	<b>654</b>	141

単位:億円

	18年度2Q	19年度2Q	増減
石油化学	32	<b>33</b>	1
エネルギー・機能材料	39	<b>37</b>	△2
情報電子化学	91	<b>89</b>	△1
健康・農業関連事業	142	<b>145</b>	3
医薬品	425	<b>421</b>	△4
その他 全社費用等	79	<b>69</b>	△10
合計	806	<b>794</b>	△12

# セグメント別売上収益 (四半期推移)

27

単位:億円

	18年度				19年度		19年度	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	上期実績	下期予想
石油化学	1,856	1,948	1,965	1,806	1,775	1,747	3,522	3,528
エネルギー・機能材料	685	723	738	682	649	661	1,310	1,490
情報電子化学	892	1,063	1,055	959	1,025	1,044	2,069	2,181
健康・農業関連事業	694	688	745	1,254	719	744	1,463	2,187
医薬品	1,243	1,184	1,291	1,203	1,258	1,217	2,474	2,526
その他	119	127	126	140	107	130	237	313
合計	5,489	5,732	5,920	6,044	5,532	5,543	11,076	12,224

# セグメント別コア営業利益（四半期推移）

28

単位:億円

	18年度				19年度		19年度	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	上期実績	下期予想
石油化学	178	176	164	98	130	44	174	66
エネルギー・機能材料	59	69	74	28	56	70	125	105
情報電子化学	43	105	75	39	78	75	153	117
健康・農業関連事業	26	△2	15	158	△46	△36	△82	192
医薬品	197	196	200	215	230	239	469	341
その他 全社費用等	△21	△6	1	△44	△5	11	6	△66
合計	482	539	528	493	443	402	845	755

# 主要グループ会社業績動向

29

外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	18年度2Q	19年度2Q	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	564	<b>547</b>	↗ 交易条件やや改善
ペトロケミカル・コーポレーション・オブ・シンガポール (百万USD)	1,399	<b>1,244</b>	↘ 交易条件悪化
ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	20,599	<b>17,460</b>	↘ 石油精製マージンおよび石油化学品マージンの低下
東友ファインケム (億KRW)	11,437	<b>13,116</b>	↗ 売価下落の一方、販売数量増加や為替影響等により増益
ベーラント U.S.A. (連結ベース) (百万USD)	317	<b>305</b>	↗ 製品構成差による増益